

指定した語を用いた記述問題の場合、その語が本文中にあるときは、その使われ方に着目します。

問いにある「解放」という言葉は、本文の93行目「だけどもう、解放されても許されるかな、と思ったの。」に出てきます。何からの「解放」かという、89行目の「この鞆の中には、わたしの子どもじみたわがままや、愚かな優越感が、いっぱいはいっているの。自分への反省と、姉への罪ほろぼしのために、わたしはずっとこの鞆を持ちつづけたわ。」から「自分への反省と、姉への罪ほろぼし」と読み取ることができます。また、本文の「解放」の直後に「わたしはもう一度、やさしい人間になれるかなって。」とあるので、問いで求められている「どのようになれる」の「どのように」は「やさしい人間に」になります。以上の点を、制限字数の中でまとめることを求めた問題です。

問いの中にある「解放」という言葉は、下線部から離れたところにありますが、記述の手がかりになっています。丁寧に本文を読み進める習慣をつけましょう。

[平成24年度出題]

正解

解答例

自分のわがままや愚かな優越感への反省と、姉への罪ほろぼしから解放され、やさしい人間になれる。

(46字)